

日本電信電話株式会社の再編成(1997年NTT法改正、1999年7月再編成)

独占的事業者と行政間の情報の非対称性を踏まえ、行為規制のみでは抜本的な解決を図ることができない公正競争上の問題(内部相互補助、情報流用等)に対処するため、構造的措置を実施

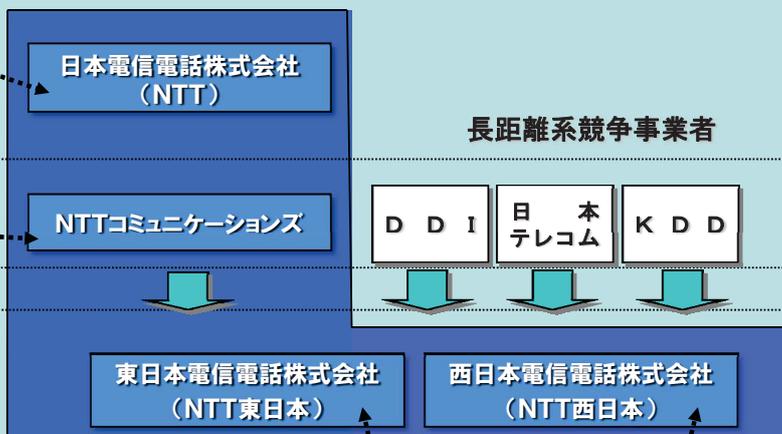
基盤的研究の一元的な推進を図り、国としての研究開発力を維持・強化するとともに、ユニバーサルサービスの安定的な提供を確保

独占的部門での市場支配力の濫用を防止するため、競争的部門を分離

接続ルールの制度化と併せて、地域電気通信網への接続に関し、NTTコミュニケーションズと長距離系競争事業者との間における条件の同等性を確保

競争的部門  
(長距離通信)

独占的部門  
(地域通信)



比較競争(ヤードスティック競争)を含む独占的部門における競争の促進のため、地域分割

NTT組織問題の2010年時点での検討

通信・放送の在り方に関する政府与党合意(H18. 6. 20)

NTTの組織問題については、ブロードバンドの普及状況やNTTの中期経営戦略の動向などを見極めた上で2010年の時点で検討を行い、その後速やかに結論を得る。

【総務省】

通信・放送分野の改革に関する工程プログラム(H18. 9. 1)

NTTの組織問題については、市場の競争状況の評価等に係るレビューを毎年実施するとともに、2010年の時点で検討を行い、その後速やかに結論

【出典：総務省作成資料をもとに作成】

2-19 NTT法の枠組み

	日本電信電話株式会社 (持ち株会社)	東日本電信電話株式会社 西日本電信電話株式会社 (地域会社)
目的 (第1条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社による適切かつ安定的な電気通信役務の提供の確保を図る。</li> <li>◇電気通信の基盤となる電気通信技術に関する研究を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域電気通信事業を經營する。</li> </ul>
事業 (第2条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域会社が発行する株式の引受け及び保有並びに当該株式の株主としての権利の行使</li> <li>◇地域会社に対する必要な助言、あっせんその他の援助</li> <li>◇電気通信の基盤となる電気通信技術に関する研究等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域(=同一の都道府県内)電気通信業務</li> <li>◇総務大臣の認可*を受けて、地域電気通信業務を営むために保有する設備・技術又はその職員を活用して行う電気通信業務その他の業務</li> </ul> <p>* 総務大臣は、地域会社が当該業務を営むことにより地域電気通信業務の円滑な遂行及び電気通信事業の公正な競争の確保に支障を及ぼすおそれがないと認めるときは、認可しなければならない</p> <p style="text-align: right;">等</p>
責務 (第3条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇国民生活に不可欠な電話の役務のあまねく日本全国における適切、公平かつ安定的な提供の確保</li> <li>◇電気通信技術に関する研究の推進及びその成果の普及</li> </ul>	
株式 (第4条~第6条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇3分の1以上の政府保有義務</li> <li>◇3分の1までの外資規制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全ての株式を日本電信電話株式会社が保有</li> </ul>

【出典：総務省作成資料】

### 3 電気通信事業の動向

#### 3-1 次世代ネットワーク(NGN)サービスの開始

- NGNは、電話網の持つ信頼性・安定性を確保しながら、IPネットワークの利便性・経済性を備えた、次世代のフルIPのネットワーク。
- 我が国においては、平成20年3月末からNTT東西がNGNの商用サービスを開始。
- NTT東西は、光サービスユーザの既存IP網からNGNへのマイグレーションを2012年度目途に完了予定。

サービス分類		NGNのネットワークサービス	
光ブロードバンドサービス ・インターネット接続 ・IPv6通信機能を標準装備		戸建て向け（最大通信速度100Mbps）	
		集合住宅向け（最大通信速度100Mbps）	
		事業所向け（最大通信速度1Gbps）	
OAB-J IP電話/ テレビ電話	QoS	ひかり電話（標準品質、 <b>高品質</b> [7KHz]）	
		ひかり電話（ビジネスタイプ）	
		テレビ電話（標準品質、 <b>標準テレビ品質</b> 、 <b>ハイビジョン品質</b> ）	
VPN (センタ・エンド型、 CUG型サービス)	QoS	今後提供予定	
	ベストエフォート	VPN（センタ・エンド型、CUG型サービス）	
コンテンツ 配信向け サービス	QoS	<b>ユニキャスト（帯域確保）</b>	
		<b>マルチキャスト（帯域確保）※地デジIP再送信向け</b>	
	ベストエフォート	ユニキャスト	
		マルチキャスト	
イーサネットサービス		イーサ（県内・県間とも）	

**【凡例】**

 : 平成21年1月末現在提供済

 : 平成21年3月以降提供予定

**赤字が新サービス**

(注) 地デジIP再送信は、平成20年5月、(株)アイキャスト及び(株)NTTぶららが、NGNを利用して東京・大阪において開始

- NTT東西のNGNの特徴**
- **品質確保 (QoS)**  
地域IP網で実現していた従来のベストエフォート型の通信に加えて、ネットワーク制御により、エンド・トゥ・エンドでの品質を確保したサービスを提供
  - **セキュリティ**  
回線ごとに割り当てられた発信者IDをチェックし、なりすましを防止  
ネットワークの入り口で、なりすましや不正なアクセスをブロックする機能などを具備
  - **信頼性**  
ひかり電話網と異なり、当初から大規模ネットワークを想定したネットワークアーキテクチャを採用し、信頼性の高いネットワークを提供

【出典：第108回（H20.3.21）接続委員会資料をもとに作成】